

五合目と富士スバルライン周辺のハイキング

御中道は、修行者が富士山五合目を一周した特別な登山道でした。ここから上は、森林に覆われた斜面が別世界のような火山岩のある風景へと変わり、富士講信仰では現世の向こうに待っている極楽浄土が現れたものだと考えられていました。

残念なことに、御中道は現在も富士山西側で進行中の山崩れ、「大沢崩れ」のために完全に一周することができなくなりました。この浸食谷は、山頂から 2km 以上にわたって延び、またその幅は過去数百年で 500m ほどに広がり、通り抜けることのできない谷になっています。しかし御中道の一部は今でもハイカーに解放されています。

御庭と奥庭 - ふたつの庭

御庭バス停は、富士スバルライン五合目ターミナルのひとつ手前にあり、御中道へのアクセスに便利です。このバス停は、御庭登山道と奥庭登山道の双方から徒歩圏内に位置しています。

奥庭ハイキングコースは、御庭バス停を起点として富士山から離れる北西方向に進みます。最初の部分は、カラマツ、シャクナゲやコケモモが生え並ぶ日陰になった下り坂です。斜面の麓には、土産物店が 1 軒あり、その営業時間は季節によって異なります。店を通り過ぎると、奥庭の窪地を通り抜け、反対側の展望台へと繋がっている登山道が開けます。振り返ると窪地の向こうに非常に表情豊かな富士山の姿を見ることができます。

奥庭のこのエリアでは風が強く、カラマツの木の中にはほぼ水平に成長したものもあります。この不気味な現象こそが、このエリアを天狗の庭と言わしめた所以なのかもしれません。天狗は、獯猛で体の一部が鳥である強力な霊力を持った神話上の生き物で、しばしば高い山にいるものとされています。ここには赤い鳥居があり、登山道沿いには天狗を描いた記念碑もあります。

駐車場から奥庭の展望台へのハイキングの往復の所要時間は約 45 分です。

御庭登山道の起点は、道の反対側の南にあります。ここが御中道コース (標高 2,400m) へとつながる山腹に据え付けられた階段を 30 分間上るコースの始点で、わかりやすい標識があります。冒険好きのハイカーは、西へと進んで大沢崩れを見に行くこともできますが、そのコースには数時間かかるため、しっかりと装備できていない方にはお勧めしません。若干楽なほうのコースは、御中道に沿って東に向かい 1 時間ほどハイキングした先にある、富士スバルライン五合目バスターミナルへと行くコースです。

奥庭コースとは異なり、御庭コースは富士山の森林限界の近くに位置しています。火成岩と「がれ場」には、花を付けたシャクナゲが点在する間にカラマツやシラカバのみがまばらに生えています。木がほとんどないため、山頂を望む景色やそれと反対の北向きの景色の双方ともに壮観で、晴れた日には遠く南アルプスまでを見ることができます。この登山道は森林の生い茂る深い谷を数カ所通ります。ここはかつて山腹を流れ落ちた溶岩が残した側火口です。これらからは富士山の壮大さと火山の噴火の荘厳な威力をまざまざと見せつけられます。